

広域的支援人材の研修に関する研究

—広域的支援人材及びその候補者がこれまでに受けてきたトレーニングから
見える必要な要素について—

分担研究報告書

令和 6 年度厚生労働科学研究費補助金
(障害者政策総合研究事業)

強度行動障害者支援のための指導的人材養成プログラムの開発および
地域支援体制の構築のための研究 (22GC1015)
分担研究報告書

広域的支援人材の研修に関する研究
—広域的支援人材及びその候補者がこれまでに受けてきたトレーニングから
見える必要な要素について—

研究代表者：日詰 正文 (国立重度知的障害者総合施設のぞみの園)
研究協力者：村岡 美幸 (国立重度知的障害者総合施設のぞみの園)
中澤 典子 (国立重度知的障害者総合施設のぞみの園)

研究要旨

本研究は、広域的支援人材の活動の質の維持・向上を図る上で、必要な要素を抽出・整理することを目的に、令和 5 (2023) 年度中核的人材養成研修のディレクター、トレーナー17 名、及び令和 6 (2024) 年度に開催した広域的支援人材(候補者含む)を対象としたイベント参加者のうち、発達障害者支援センター職員、発達障害者地域支援マネージャー、広域的支援人材名簿登録者、中核的人材養成研修の講師等で、コンサルテーション経験のある者 41 名を対象に、自閉スペクトラム症の方への支援やコンサルテーションの実施に際し、過去に受けたトレーニングについて、メールによるアンケート調査を 2024 年 10 月～11 月に行った。本研究により、広域的支援人材の質の維持・向上を図るためには、中核的人材養成研修内での OJT に加えて、「実践者同志の交流」「効果的なアセスメントツールの習得」「利用者とのコミュニケーション方法やマネジメントスキルの獲得」などが必要だと考えられた。

A. 研究目的

1. 背景

令和 6 (2024) 年度障害福祉サービス等報酬改定においては、状態が悪化した強度行動障害の状態にある児者に対し、高度な専門性と豊富なコンサルテーションの経験を有する広域的支援人材が、事業所等を集中的に訪問等(情報通信機器を用いた地域外からの指導助言を含む。)し、標準的な支援(適切なアセスメントと有効な支援方法の整理をともにを行い、環境調整を進めること)に基づいた支援の実施に寄与することを評価する「集中的支援加算」が創設された。

広域的支援人材は、都道府県が、①国立のぞみの園が実施する中核的人材養成研修の指導者(ディレ

クター・トレーナー等の名称で受講者に対して)である者、②厚生労働省の補助金事業「発達障害者支援体制整備事業」によって配置された発達障害者地域支援マネージャーである者、③その他、強度行動障害を有する児者への支援に知見を有すると都道府県等が認める者、この①から③のいずれかに該当する者を選定・依頼し、名簿を作成公開することとなっている¹⁾。

上記の①については、先行研究として令和 3 (2021) 年度の厚生労働省障害者総合福祉推進事業「強度行動障害者支援に関する中核的な人材の養成に関する研究」(実施主体:全日本自閉症支援者協会)の一環として行われたモデル研修に関わった者を中心に令和 5 (2022) 年度、令和 6 (2023) 年度

の中核的人材養成研修を行い、令和6（2023）年度末時点では全国で34名が該当している。

さらに、将来的なトレーナー候補として中核的人材養成研修ではサブ・トレーナーという役割を位置づけ、グループ演習やフォローアップ訪問を行う際に、トレーナーの受講者に対する助言の仕方等をOJTの形で学ぶようにしており、令和6（2023）年度末時点では全国で56名が該当している。

本研究では、広域的支援人材の選定方法の②、③で依頼をされた者も含め、活動の質の維持・向上を図る上で、必要な要素を抽出・整理することを目的とする。

B. 研究方法

令和5（2023）年度中核的人材養成研修のディレクター、トレーナー17名、及び令和6（2024）年度に開催した広域的支援人材（候補者含む）を対象としたイベント参加者のうち、発達障害者支援センター職員、発達障害者地域支援マネージャー、広域的支援人材名簿登録者、中核的人材養成研修の講師等で、コンサルテーション経験のある者41名を対象に、自閉スペクトラム症の方への支援やコンサルテーションの実施に際し、過去に受けたトレーニングについて、メールによるアンケート調査を2024年10月～11月に行った（回収数58件、回収率100%）。

表1 アンケート調査回答者の概要（複数回答）

発達障害者支援センター職員・ 発達障害者地域支援マネージャー	20（34.5%）
広域的支援人材名簿登録者	5（8.6%）
中核的人材養成研修の講師等	41（70.7%）

n = 58

■ 倫理面への配慮

国立のぞみの園調査研究倫理審査委員会で承認を得た（承認番号06-09-03）

C. 研究結果

（1）これまで受けてきた自閉スペクトラム症の方

への支援に関するトレーニング方法

トレーニングの方法は、「講義を受ける」「コンサルテーション等への同行・観察」「コンサルテーションの実践・フィードバック」「研修等の企画運営」「会議等の検討の機会」「スーパービジョン」「OJT」「強度行動障害支援者養成研修」「実践者等との交流」「インシデントプロセス法による事例検討」「研修の講師、企画運営」等であった（表2）。

（2）これまで受けてきた自閉スペクトラム症の方への支援に関するトレーニング内容

トレーニング内容は、「TEACCH 5Days トレーニングセミナー」「ABA」「PECS」「TTAP」等であった。「TEACCH 5Days トレーニングセミナー」は、国内だけでなく、米国で開催しているセミナーに参加している者もいた（表2）。そのほか、コーチングスキルなどのマネジメントスキルなど、中間管理職以上に求められるスキルを学んでいる者もいた。

表2 広域的支援人材（候補者含む）が受けているトレーニングの一例

OJT（On-the-Job Training）	受ける
コンサルテーション	同行
コンサルテーション	コンサルティ
コンサルテーション	コンサルタント
TEACCH 5 Days トレーニングセミナー	受講
TEACCH 5 Days トレーニングセミナー	シャドー
強度行動障害支援者養成研修（指導者研修）	講師
強度行動障害支援者養成研修（指導者研修）	企画運営
インシデントプロセス法による事例検討	事例検討

D. 考察

本研究により、広域的支援人材の質の維持・向上を図る上で、中核の人材養成研修内でのOJT以外に必要なトレーニング方法や内容を整理することができた。具体的な方法は、「実践者同志の交流」「知識の獲得」であり、内容は、「効果的なアセスメントツールの習得」「利用者とのコミュニケーション方法」「マネジメントスキル」であると考えられた。

E. まとめ

以上の結果を踏まえ、令和7年度以降に開催する広域的支援人材を対象とした研修等の企画を、広域的支援人材に期待される役割と照らし合わせ検討する。

<文献>

- 厚生労働省・こども家庭庁：状態の悪化した強度行動障害を有する児者への集中的支援の実施に係る事務手続等について
(<https://www.mhlw.go.jp/content/001270362.pdf>)

<資料>

表3 トレーニング一覧

1	スーパービジョン	受ける立場
2	スーパービジョン	スーパーバイザー
3	事例・実践等報告	
4	アセスメントツールを学ぶ研修	受講
5	OJT	受ける立場
6	OJT	する立場
7	コンサルテーション	同行
8	コンサルテーション	コンサルタント
9	コンサルテーション	コンサルティ
10	コンサルテーション（講義）	受講
11	コンサルテーション同士の情報交換	
12	アセスメント方法を学ぶ研修	受講
13	TEACCH5days トレーニングセミナー	受講

14	TEACCH5days トレーニングセミナー	シャドー
15	TEACCH5days トレーニングセミナー	事務局
16	TEACCH5days トレーニングセミナー Beyond the Basics	受講
17	TEACCH5days トレーニングセミナー	受講
18	TEACCH5days トレーニングセミナー	事務局
19	TEACCH5days トレーニングセミナー	トレーニー
20	TEACCH5days トレーニングセミナー	シャドー
21	TEACCH5days トレーニングセミナー コンサルテーション研修	受講
22	TEACCH5days トレーニングセミナー Beyond the Basics	受講
23	TEACCH3Days トレーニングセミナー	受講
24	TEACCH3Days トレーニングセミナー	事務局
25	TEACCH3Days トレーニングセミナー	トレーナー
26	TEACCH2Days トレーニングセミナー	シャドー
27	TEACCH 資格申請時 動画のスーパービジョン	受講
28	Fundamentals of Structured TEACCHing	
29	TEACCH アセスメント研修	受講
30	TEACCH 研究会	参加
31	TEACCH 研究会	アシスタント
32	TEACCH 研究会	講師
33	TEACCH 研究会	トレーナー
34	TEACCH 研究会トレーニングセミナー	受講
35	TEACCH 自立トレーナー	受講
36	TEACCH コンサルテーション技術（ジャック・ウォール）	受講
37	トレーニングセミナー	開催
38	トレーニングセミナー	見学
39	トレーニングセミナー	アシスタント
40	自閉症支援のためのワークショップ	受講
41	自閉症 e サービストレーニングセミナー	
42	自閉症 e サービストレーナー養成講座	受講
43	自閉症 e サービス全国ネットトレーナー トレーニング	
44	自閉症カンファレンス	

45	自閉症 e サービス基礎研修	受講
46	自閉症 e サービス実践ワークショップ	受講
47	TTAP ワークショップ	受講
48	TTAP ワークショップ	受講
49	TTAP アセスメントセミナー	受講
50	川崎医療大学自閉症セミナー	
51	ABA	受講
52	PECS	受講
53	PECS Pyramid Educational Consultants UK PECS Training	受講
54	Moving from the Picture Exchange Communication System (PECS) to Speech Generating Devices (SGDs) Talk	受講
55	PECS ワークショップ	受講
56	PECS ベーシック 2 day	受講
57	Guide to Managing Challenging Behaviours Parent Workshop	
58	強度行動障害支援者養成研修	受講
59	強度行動障害支援者養成研修[基礎]	受講
60	強度行動障害支援者養成研修[実践]	受講
61	強度行動障害支援者養成研修（指導者研修）	事務局
62	強度行動障害支援者養成研修（指導者研修）	講師
63	強度行動障害支援者養成研修フォローアップ研修	コーディネート
64	強度行動障害支援者養成研修アドバイザー派遣	コーディネート
65	強度行動障害アドバンス研修（東京）	事務局
66	強度行動障害支援者養成研修 テキストのコンテンツ作り	
67	強度行動障害支援者養成研修トレーナートレーニング（東京都）	受講
68	強度行動障害支援者養成研修（福岡市）	講師
69	強度行動障害支援者養成研修（長崎県）	講師
70	強度行動障害支援者養成研修（国研修）	受講
71	強度行動障害支援者養成研修（京都府）	受講
72	強度行動障害支援モデル事業（京都府）	受講
73	行動援護従業者養成研修	講師
74	強度行動障害支援者養成実地研修	受講
75	行動支援研修（福岡市）	講師

76	発達心理学	受講
77	応用行動分析学	受講
78	応用行動分析学	トレーニング
79	ABA 研修会	受講
80	認知心理学	受講
81	行動コンサルティング	受講
82	コーチングスキル	受講
83	マネジメントスキル	受講
84	第三者評価	
85	チームリーダー	担い手
86	運営管理職	担い手
87	現場訪問	
88	インシデントプロセス法による事例検討	講師
89	全国の実践者・研究者との交流	
90	メンターへの相談・助言	
91	個別指導プログラム 構造化の基礎を学習	
92	中核的人材養成研修	受講
93	中核的人材養成研修	トレーナー（SV）
94	中核的人材養成研修	サブ・トレーナー
95	筑波大学大学院人間総合科学研究科障害科学専攻博士前期・後期課程におけるトレーニング	受講
96	機能的アセスメントによる環境調整、行動改善を学ぶ研修	受講
97	地域支援マネージャー研修	受講
98	東社協アドバンス研修トレーナートレーニング	受講
99	東京都支援力育成派遣事業（コンサル）でのトレーナートレーニングOJT	
100	CARS2（小児自閉症評定尺度 第2版）	
101	横浜市強度行動障害者への施策検討委員会への参加	
102	PBS（積極的行動支援）	
103	発達障害者支援ケアマネジメント支援事業 フォローアップ研修	
104	発達障害者地域支援マネージャー研修 [基礎編]	受講
105	発達障害者地域支援マネージャー研修 [応用編]	受講
106	フォーマルアセスメント実施のための研修	受講

107	国立障害者リハビリテーションセンター主催の研修	受講
108	感覚	受講
109	愛着障害	受講
110	表出コミュニケーション	受講
111	強度行動障害 SV インターン	同行
112	臨床心理士資格所有（心理検査や心理療法に関する学会等への定期的な参加）	
113	症例検討	
114	佐賀県それいゆのコンサルテーション研修会	受講
115	行動障害セミナー（福岡県発達障がい者支援センター 北九州地域）	トレーナー
116	構造化セミナー（福岡県発達障がい者支援センター 北九州地域）	トレーナー